

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 豊橋市立植田小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 441-8134
愛知県豊橋市植田町字池堀田15

E-mail : ueta-e@toyohashi.ed.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 166名 女子 158名 合計 324名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①地域環境を生かした栽培活動

5年生は、総合的な学習と社会科を関連させて米づくり（もち米）に取り組んだ。田おこし、代かきから始まり、田植え、草取り、水の管理など地域の方の協力を得ながらも自分たちの手で育てた。この活動を通して、子どもたちは栽培の苦労を経験し、植物の生命力や食物の大切さについて考えることができた。また、協力してもらった方々への感謝の気持ちを大きくし、収穫後のもちつき会では、率先して行動する子どもの姿が見られた。



1年生は、生活科の時間を使って、学年花壇でのサツマイモの栽培活動に取り組んだ。子どもたちは登校後、葉っぱの観察と水やりが日課となった。地域で農業をしている方からもアドバイスをもらい、収穫を楽しみに思い描きながら、毎日水やりや世話に取り組んだ。この活動を通して、栽培の苦労と喜びを1年生なりに感じる事ができた。



収穫を祝う「おいもパーティ」を自分たちで計画し、全校のみんなにも食べてもらおうと「茶巾絞り」作りをがんばった。

②地域学習に関する活動

4年生は、総合的な学習の時間を使って、校区の池についての学習に取り組んだ。池のことを知る校区の方に話を聞いたり、市役所の担当の方から説明していただいたり、植田大池の池干しの見学を通して、「昔の大池の様子」や「次第に汚染されていく状況」、「外来種の悪影響」などが明らかになってきた。昔のようなきれいな大池になってほしいという気持ちを高め、学習の



まとめの新聞を校区の方々に配付したり、大池のまわりに看板を立てたりする活動を行った。

6年生は、総合的な学習と社会科を関連させて、地域の文化や歴史への理解を深める取り組みを行った。車神社や素戔鳴神社の見学や地域の方から戦時中の話を聞く会を行った。これらの活動を通して、開拓の苦労や地域の歴史を知り、地域の人々の生きる力を感じとった。

③地域の人々に触れる活動

2年生は、生活科の時間を使って、校区にある商店についての学習に取り組んだ。校区にある商店を調べ、自分の行きたい店を選び、見学を行った。保護者ボランティアさんの協力も得て、多くの店に出かけることができ、子どもたちも意欲的に取り組むことができた。店員さんやお客さんにも積極的にインタビューでき、商店の工夫に気づくことができた。



3年生は、総合的な学習と社会科を関連させて、校区の産業についての学習に取り組んだ。豊橋・田原はキャベツの名産地で、植田にも多くのキャベツ畑があり、その見学を通して、畑によって苗だったり、収穫中だったり耕していたり、その違いに気づいたところから学習が深まっていった。調べたり、インタビューをする活動から農家の苦労や工夫を理解することができた。



(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()